

平成29年度行政評価 事務事業評価シート(平成28年度実績)

事務事業コード	030101070	予算コード	01081730	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	A					
事務事業名	市民後見推進事業			正規職員数 0.41	国庫支出金 0	有効性	B	高齢者の増加に伴い、認知症高齢者も増加傾向にあるため、今後ニーズは増えると考ええる。						
担当課	高齢介護課			嘱託職員数 0.2	府支出金 427									
根拠法令等	市単独事業			臨時職員数 0	市債 0	効率性	該当なし							
	■法律・政令・省令			歳出(千円)	その他 0									
	老人福祉法、地域医療介護総合確保促進法			人件費総額 4,334	一般財源 4,477	妥当性	該当なし							
					減価償却費 0									
					事業費 570	受益者負担	該当なし							
事務事業類型	運営事業			フルコスト(千円) 4,904	緊急性	C	事務事業実施内容							
実施手法	全部委託			市民1人当たりコスト(円) 49				平成26年度は8名オリエンテーションへ参加した。						
対象				活動指標	H28実績	公的関与	該当なし							
特定の市民		対象数	不明	地域包括支援センターへの権利擁護の相談件数	200.0									
認知症高齢者						実施主体・委託化	D							
事業の内容						他の事務事業との関連	D							
泉佐野市において「市民後見人養成講座」の企画及び運営を実施し、将来市民後見人として活動する市民を養成するとともに、円滑に市民後見活動を行えるようサポート体制を整備する。				成果指標	H28実績	透明性	該当なし							
				オリエンテーションへの参加人数	21.0			財政健全化計画		該当なし				
								財政健全化の取組		該当なし				
								コスト指標		H28実績	改革改善プラン達成度	該当なし		
事業の目的														
専門後見人には期待できない「寄り添って支援する」ということを、「市民という専門性」を持った市民後見人に期待し、被後見人の権利擁護を推進していくこと。														